

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月11日

協議会名:石川県生活交通の確保に関する地域協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
北鉄金沢バス株式会社	系統名:津幡(新道) 運行区間:本津幡駅～八幡～野町駅	社会情勢に注視しながら必要なダイヤ、便数の確保に努め、利用者のニーズに沿ったものにより、旅客の利便性の確保を維持した。	A 計画どおり実行された。	B 県内路線バス利用者数の維持 (R3.10～R4.9)104,501人→ (R4.10～R5.9)103,965人  ※減少理由 R5.4.1のダイヤ改正により、1日あたりの運行回数が減少したため。	引き続き社会情勢に注視し必要なダイヤ、便数の確保を行っている。
	系統名:内灘 運行区間:内灘駅～県庁前～金沢駅西口	社会情勢に注視しながら必要なダイヤ、便数の確保に努め、利用者のニーズに沿ったものにより、旅客の利便性の確保を維持した。 また、新たな潜在的な需要を掘り起こすため大友、県庁方面を経由する系統へ変更した。	A 計画どおり実行された。	A 県内路線バス利用者数の維持 (R3.10～R4.9)61,688人→ (R4.10～R5.9)65,204人	引き続き社会情勢に注視し必要なダイヤ、便数の確保を行っている。
北鉄加賀バス株式会社	系統名:温泉山中A 運行区間:加賀温泉駅～河南～山中温泉	地元利用者向けにはJR接続等を重視したダイヤ編成及び時刻表全戸配布の継続の他、加賀市が推進するMaaSの本格実施へ向けて積極的に参画することにより、利便性の向上(キャッシュレス決済、他の交通モード(乗合タクシー・CANBUS)との連携)を図った。	A 計画どおり実施された。	A 県内路線バス利用者数の維持 (R3.10～R4.9)70,530人→ (R4.10～R5.9)73,189人	地元利用者向けにはJR接続等を重視したダイヤ編成及び時刻表全戸配布の継続の他、加賀市が推進するMaaSの本格実施へ向けて積極的に参画することにより、利便性の向上(他の交通モード(乗合タクシー・CANBUS)との連携)を図る。 あわせて、クレジットカード等によるタッチ決済の導入によるキャッシュレス乗車の実現を図る。
	系統名:温泉山中H 運行区間:加賀温泉駅～河南～栢野	地元利用者向けにはJR接続等を重視したダイヤ編成及び時刻表全戸配布の継続の他、加賀市が推進するMaaSの本格実施へ向けて積極的に参画することにより、利便性の向上(キャッシュレス決済、他の交通モード(乗合タクシー・CANBUS)との連携)を図った。	A 計画どおり実施された。	A 県内路線バス利用者数の維持 (R3.10～R4.9)75,330人→ (R4.10～R5.9)81,574人	地元利用者向けにはJR接続等を重視したダイヤ編成及び時刻表全戸配布の継続の他、加賀市が推進するMaaSの本格実施へ向けて積極的に参画することにより、利便性の向上(他の交通モード(乗合タクシー・CANBUS)との連携)を図る。 あわせて、クレジットカード等によるタッチ決済の導入によるキャッシュレス乗車の実現を図る。
北鉄能登バス株式会社	系統名:富来 運行区間:富来～高浜～羽咋駅	富来線の一部の便を能登中核工業団地へ乗り入れを予定しており、新たな利用客の確保を目指す。	A 計画どおり実施された。	A 県内路線バス利用者数の維持 (R3.10～R4.9)134,314人→ (R4.10～R5.9)141,783人	小学生等の児童を対象にしたバスの乗り方教室の開催など、広くバスに関心を持ってもらう取組の実施により利用客の増加を図る。
能登島交通株式会社	系統名:曲 運行区間:公立能登総合病院～七尾駅前～のとしま臨海公園	和倉温泉観光協会と連携したお得な1日券の販売、七尾市による健康センター等を利用した場合の運賃割引制度、65歳以上を対象とした割引回数券の販売を継続するとともに、沿線の観光資源(能登島周辺を周遊するイルカなど)の情報をSNS等の媒体で発信する他、高齢者への弁当の配送を目的とした真客混載を検討した。	B 計画どおり実行されていない点があった。 理由:新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から弁当の配送を取りやめたため。	A 県内路線バス利用者数の維持 (R3.10～R4.9)49,837人→ (R4.10～R5.9)52,178人	和倉温泉観光協会と連携したお得な1日券の販売継続、七尾市による健康センター等を利用した場合の運賃割引制度、65歳以上を対象とした割引回数券の販売継続、HPやSNSによる情報発信の継続。路線バスでアクセスできる観光スポットや観光施設への入場割引券を路線バスに設置する他、高齢者への弁当の配送を目的とした真客混載を検討する。
加越能バス株式会社	系統名:南砺金沢 運行区間:井波～福光駅～金沢駅西口	地元観光協会(南砺市観光協会)と連携した企画切符の発行により、観光利用者等への利用促進やPRを図るほか、ホームページ・インスタグラム等SNSを活用した沿線地区の観光施設・資源の紹介や、JR金沢駅における特急列車との接続を考慮したダイヤの設定を検討する。	A 計画どおり実施された。	A 路線バス利用者数の維持 (R3.10～R4.9)50,854人→ (R4.10～R5.9)59,740人	地元観光協会(南砺市観光協会)と連携した企画切符の発行により、観光利用者等への利用促進やPRを図るほか、ホームページ・インスタグラム等SNSを活用した沿線地区の観光施設・資源の紹介や、JR金沢駅における特急列車との接続や沿線学校への通学考慮したダイヤの設定を検討する。